

	課題分析	授業改善策
国語	アンケート結果から「知識・技能」が伸びたと感じている生徒は90%を超えているが、「思考・判断・表現」は10%程度の生徒が十分に身に付いていないと感じているようである。	「思考・判断・表現」の力を伸ばす活動として、作文や発表などのフィードバックを生徒同士でも行い、口頭やワークシートを通して伝えたりすることで、生徒の学びの実感を積み重ねていく。
社会	アンケートの結果から、90%以上の生徒が学習に意欲的に取り組んでいる。1・2学年では「思考・判断・表現」に8%の生徒が、3学年では「知識・技能」に、5%の生徒が課題を感じている。	授業中での班活動などをさらに充実させ、生徒の「思考・判断・表現」の伸長を図る。また、自身の知識や技能の定着状況を振り返るための小テストやワークの確認などの取組を増やしていく。
数学	アンケート結果から「知識・技能」が伸びたと感じている生徒が85%程度、「思考・判断・表現」が伸びたと実感している生徒が81%程度である。思考・判断・表現をさらに伸ばしていきたい。	「思考・判断・表現」の力を伸ばす活動として、話し合い・教え合い活動や、解説や分析をつけるレポート課題などを行い、自分で考えたことを表現する機会を増やしていく。
理科	アンケート結果から「知識・技能」が伸びたと感じている生徒は85%を超えているが、「思考・判断・表現」は10%程度の生徒が十分に身に付いていないと感じている。	普通の授業や実験場面で、考えさせることを目的にした「発問の工夫」、考察に必要な「基礎事項」の確認、考察の「時間」を多く設定し、話し合いを増やすなどして思考を深めさせていく。
音楽	アンケート結果より1学年では板書や、資料提示がわかりやすいと感じている生徒が77%と低かった。2・3学年では「思考・判断・表現」がついてると感じている生徒が90%前後である。音楽でも思考力・判断力を付けることが重要であると感じている。	1学年に関しては授業での板書の字の大きさを工夫し、提示の仕方を丁寧にしていく。また、2・3学年では最初に全体で考え方の共有をしたあと、話し合い活動や、協働的な学習を取り入れる中で思考力・判断力や、それに伴った表現力を身に付けられるようにしたい。
美術	アンケート結果より、3学年で12%の生徒が「思考・判断・表現」が伸びたと感じていない。生徒が学習成果をより実感できる学習活動が必要である。	授業の導入で、思考・判断・表現の力を伸ばす問題に取り組んだり、自己評価カードを活用したりして、造形表現上の考え方のポイントについて理解を深められるようにする。
保健体育	「技能・知識」が伸びたと感じている生徒がどの学年も90%を超えているが、それと比べると「思考・判断・表現」が伸びたという生徒の割合が低い。	活動において、よりよくできるような思考の仕方の例を示し、「思考・判断・表現」する場面を増やす。話し合いや教え合い活動を充実させ、思考を深める活動を増やす。
技術・家庭	「思考・判断・表現」の力を伸ばせたと感じた項目で、「とても思う」、「まあまあ思う」の合計が90%以下となった。	レポートやワークシートの書き方や考え方を改めて指導し、自分の考えを整理して表現できるようにする。
外国語（英語）	アンケート結果から「知識・技能」や「思考・判断・表現」が伸びたと感じている生徒が90%程度である。伸びたと感じられる生徒を更に増やしていく。	小テストなどを実施して、「知識・技能」が身に付いていることを目に見えて実感できるようにする。また、「思考・判断・表現」を伸ばしていくために、スピーチなどの発表活動の機会を増やしていく。

*アンケート・・・生徒による授業評価アンケート（7月実施）